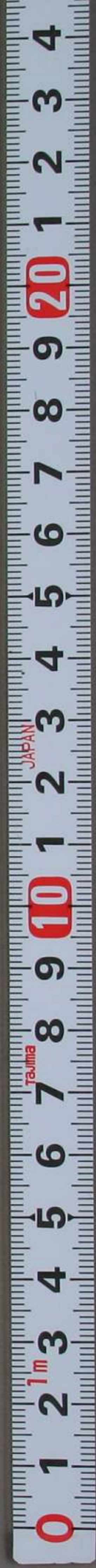


遠州流挿花意匠 真

多
1409
1



門多
1409
卷 1-3

瓶數一百
十有餘圖

里松庵一壽撰

遠州流

瓶花意匠

四時混雜花席不同

不詳
賣買

插花意匠序

明治四十一年七月一日
執行弘道 氏寄贈

近世插花之技。莫盛於遠州刺史宗甫也。後
得其傳者。流風尤繁。今也里松庵一壽之
於插花。上不夫遠州之奧指。下悅粵人之眼
目。見而效之。聞而慕之者。多矣。於是乎作
圖式。以示意匠。余披卷拍節。歎曰。夫見天

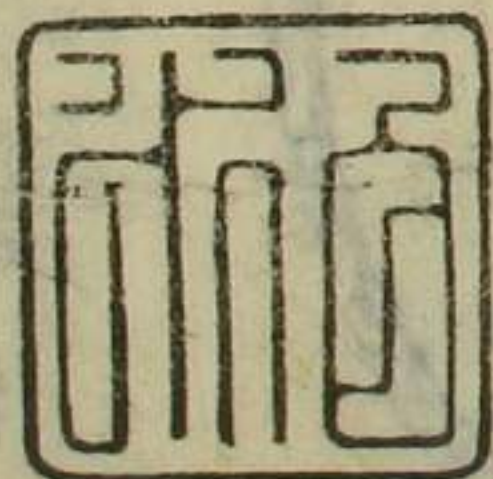


地心者。莫如草木之闌落。剪草木之花枝。編
在坐間者。插花是也。既為插在。豈得無術
乎。如此圖式。能全天然。以適人意。可謂至矣。
梓公于世。豈不昇一平。一舉事。一示。生植之為
物。非人作之所得私也。竭矧之屈伸之一
楔束之。恰如草木之生。籠中一者。非自得。

之至。則不能為。古云。橐駝之於種樹。能順木
之天。以致其性焉。余於一壽亦云。

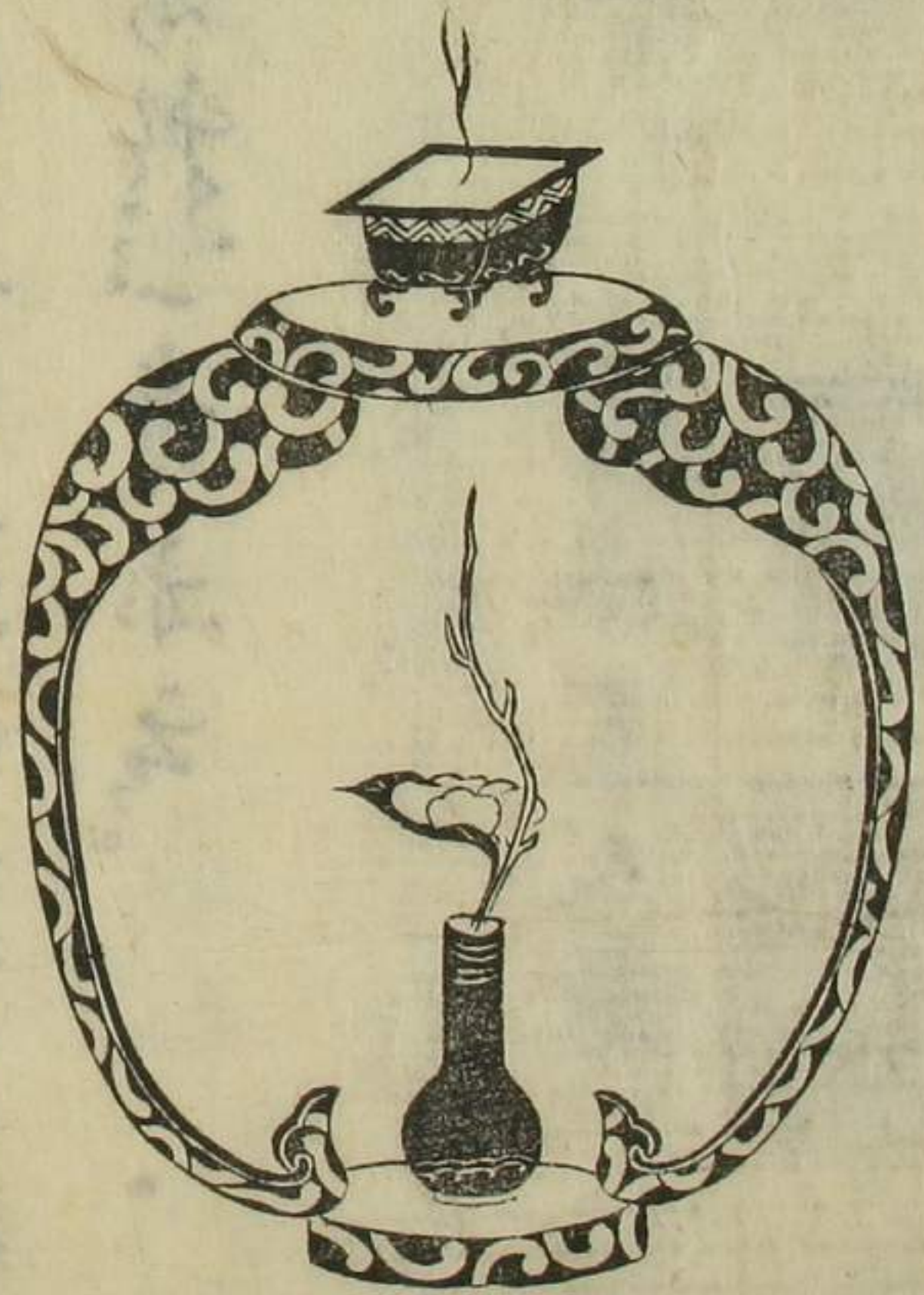
父政癸未初夏

白水真人題





流祖宗甫公挿給



一葉一花之椿傳書、有之圖



草本は、
 事を。おまらうらうら
 うまらひ
 らの才。免
 おまらうらうら。東山。

中ふーくふじ祿うめのま

里松菴一壽



里松菴一壽

奥白菊
 日之出鶴菊
 燕子花
 水仙
 十月櫻

四時花集
 四季詠言



里松庵十壽

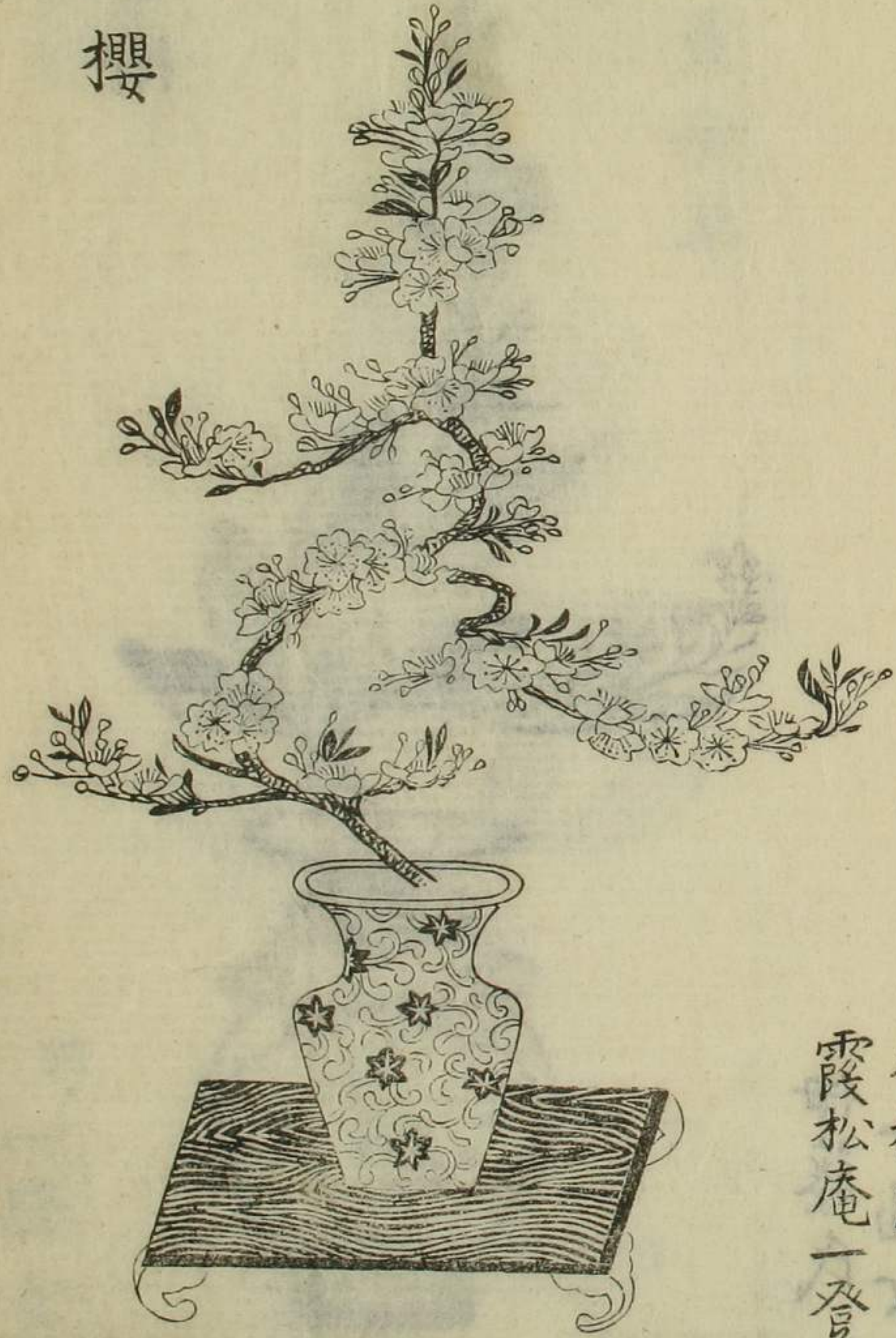
卷五十二

大
 和
 之
 友
 千代
 集

卷五十二

六

山櫻



木村氏
霞松庵一登

更有意匠新
自有心傳在

意匠

七

菁花



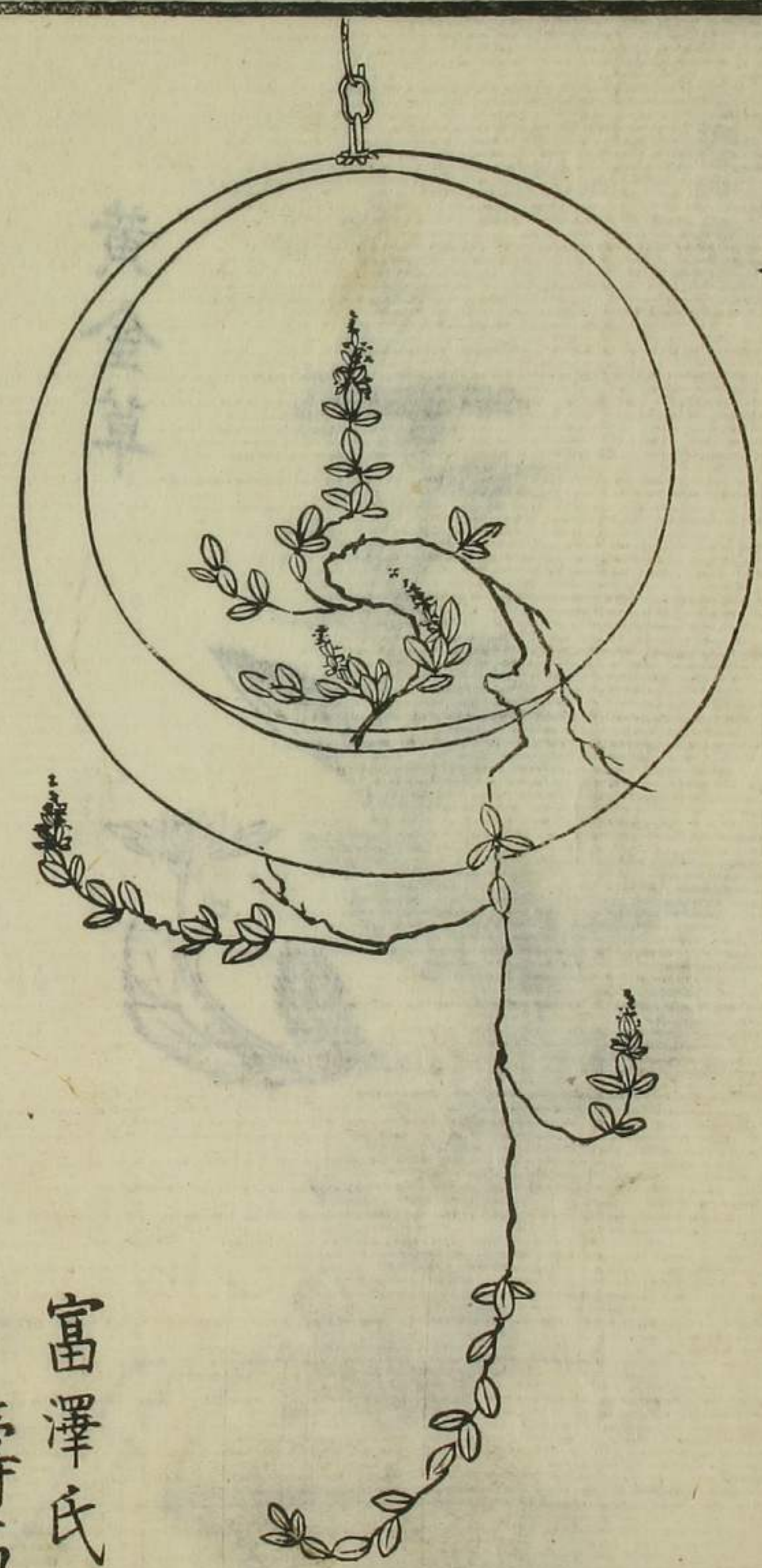
伊藤氏
一袖女

黄金草



同
一路女

曼桂



富澤氏
壽石
小童

布袋草



琴松庵一正
二合半鎌倉
内田氏

蘭



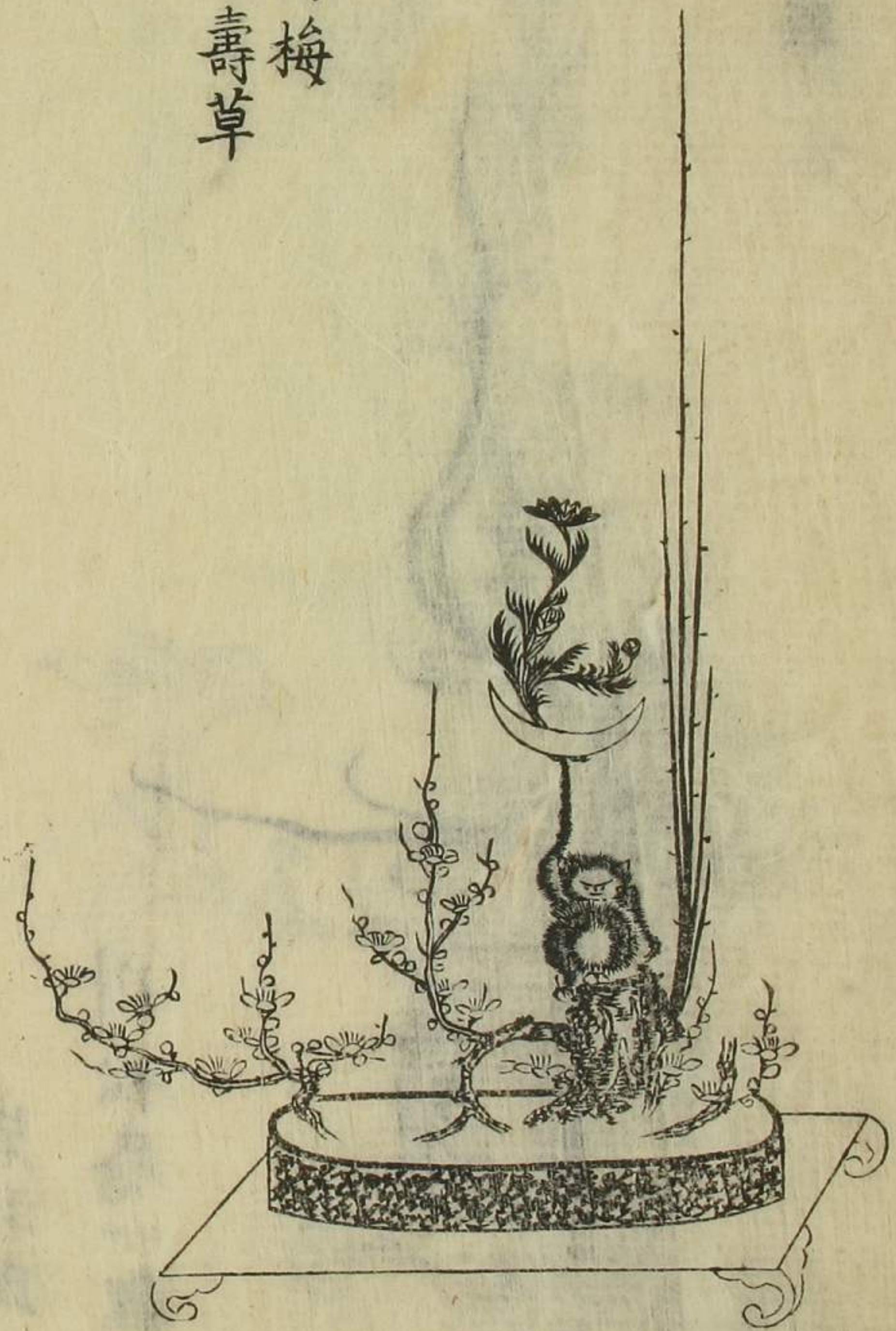
岩瀬氏
川松庵一鯉

百合

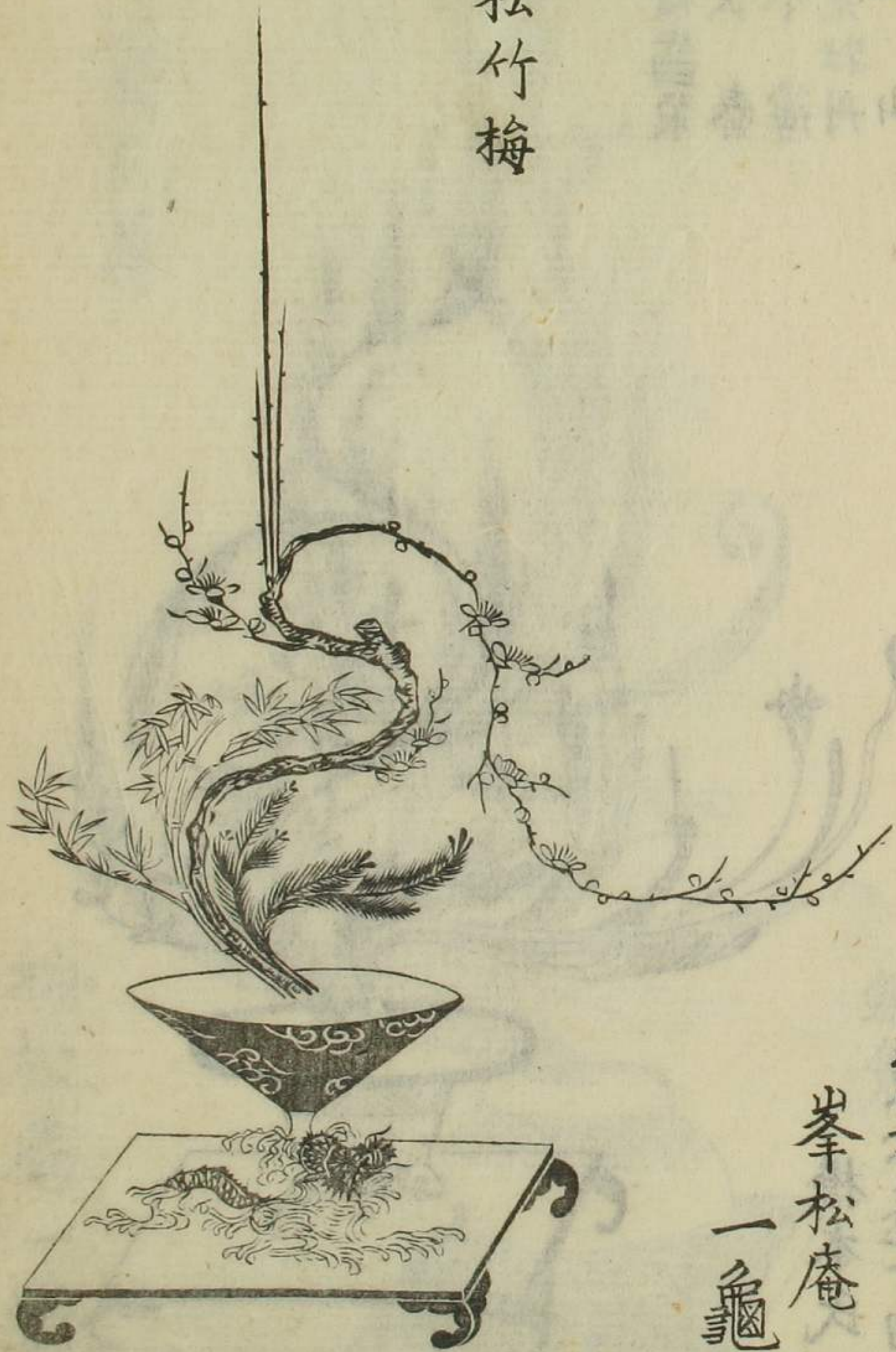


一鯉

白梅
福壽草



松竹梅



能勢氏
峯松庵
一龜

鳶尾草



拍松庵一榮

二合羊
鎌倉
濱島氏

水葉寒長
仙牡壯丹薄春
復齒朶



厩松庵一白
橋本氏

紫苑



雪松庵一猿

橋本氏

雪松庵一猿

一白

白牡丹菊



雪松庵一猿

橋本氏

雪松庵一猿

一三

白牡丹菊
十二重菊



同

燕子花



東氏

撫松庵一翫

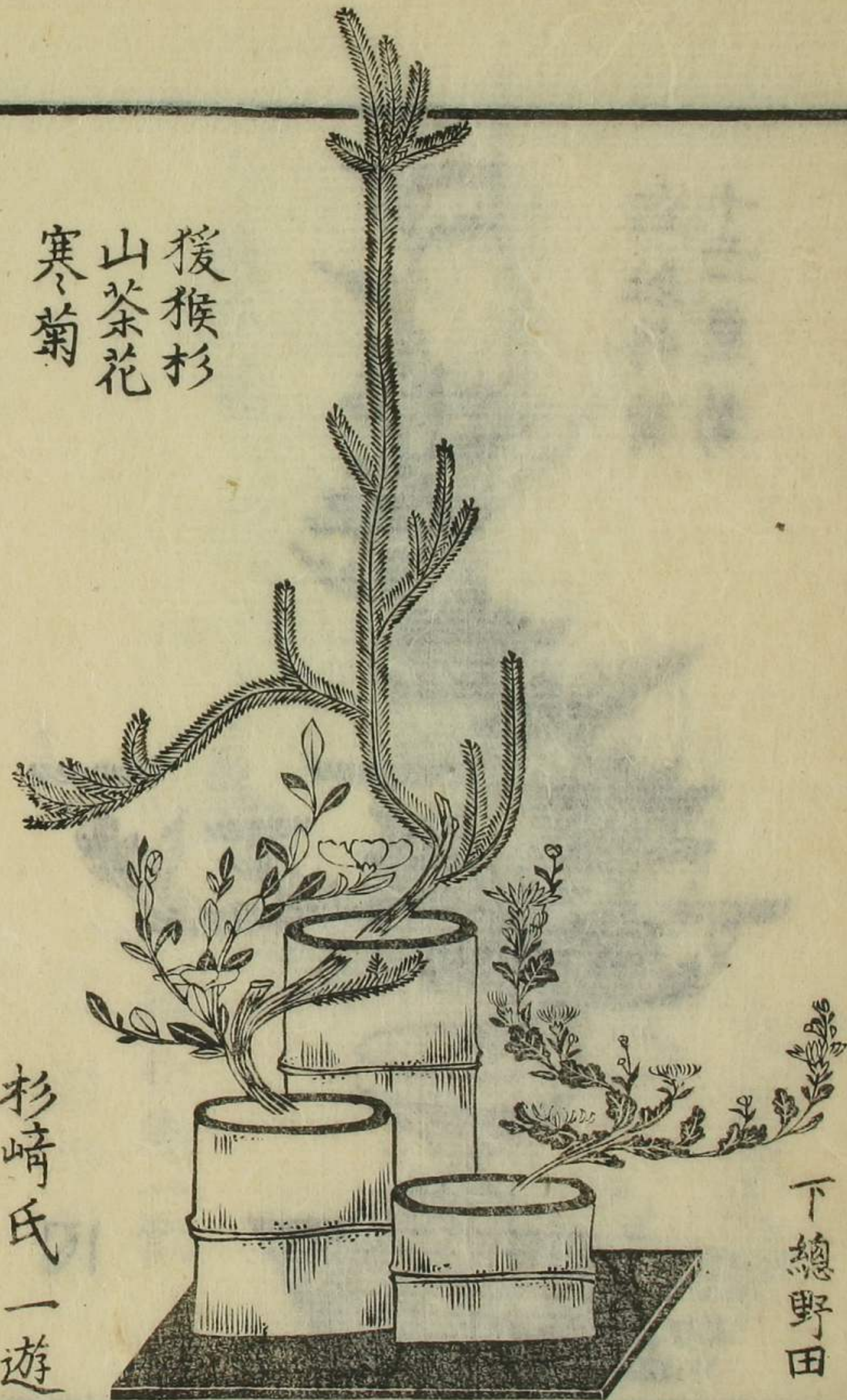
夏菊
玉登



翠松庵一瓶

入山氏

援猴杉
山茶花
寒菊



杉崎氏一遊

下總野田

紫陽花



入山氏

翠松庵一甌

樊噲草



負松庵
一志女

芙蓉柳



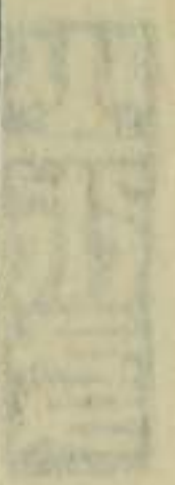
鈴木

壽友女

養正

今世不挿花てふものありて
とも我師里松庵れ敷に清き
もよ非と又清きとも花よけ自然
涼山沢池の傍てそ風雅も
正り事なるはとも木色軒とん之茶色

末とんゆりそと業れみくゝある角
 いふも古語のこゝく充目たる亦十指
 の指と亦わしてはるを知らぬもさる
 ものそるんむしそ上手もいふらん
 候りしうさ先生なる進んで風系面むく



なくしてのそ業れみくゝある角
 画乃小も繪をさるゝて正物たるより
 色あまの亦擁花もさるゝ似るもの
 此のふらうゝそ業れみくゝある角
 とも業の手練たる角ゝそ業れみくゝある角

たゞさきしんきつちのていせいの
 翫物たるはては姿面白しき中一
 吾今字亦之のりせりては
 一とあり

仙松庵一叟

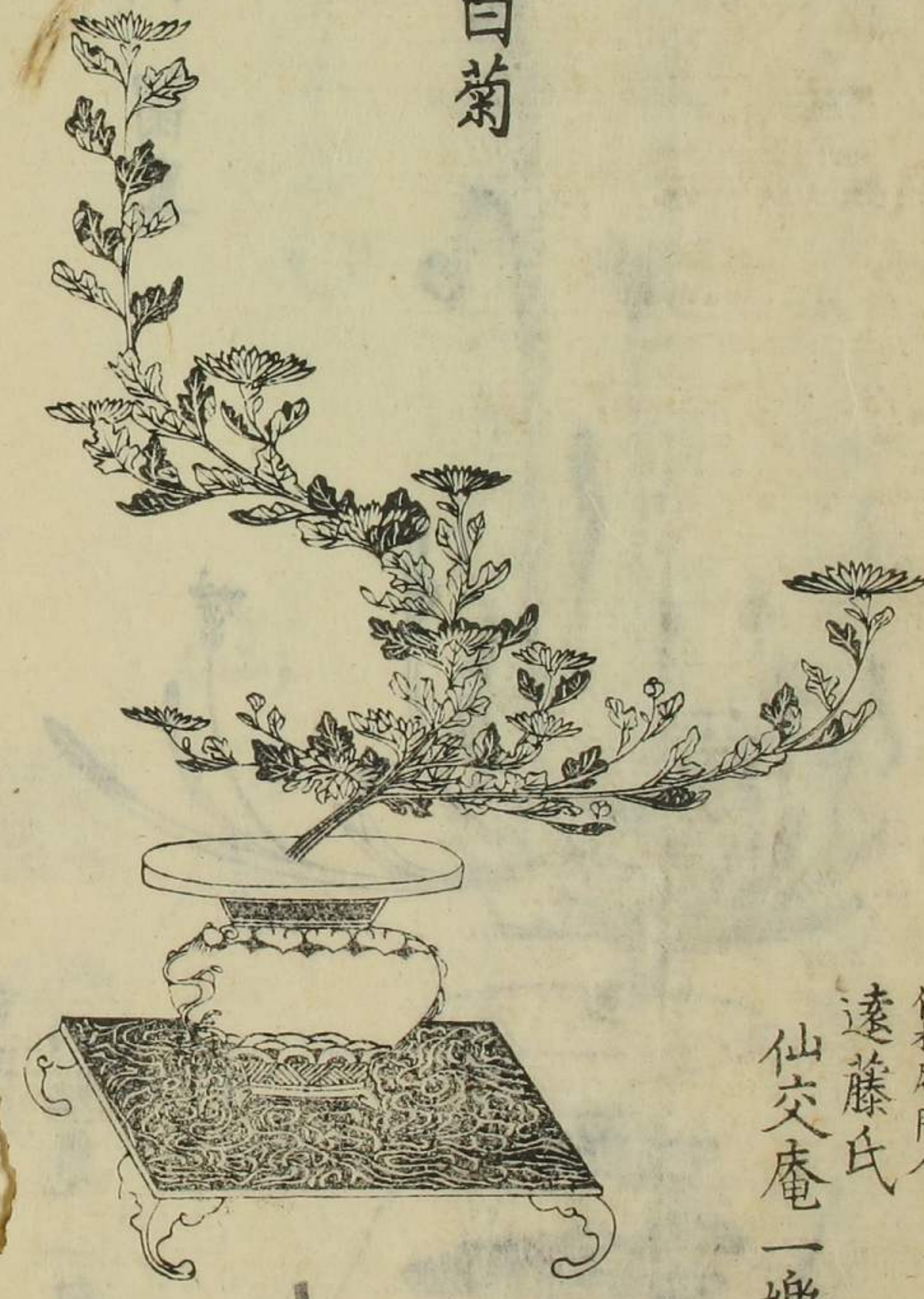


水仙留真



吉田氏
 仙松庵一叟

奥白菊



仙松庵門人
遠藤氏
仙交庵一樂

牽牛花
秋海棠
萩

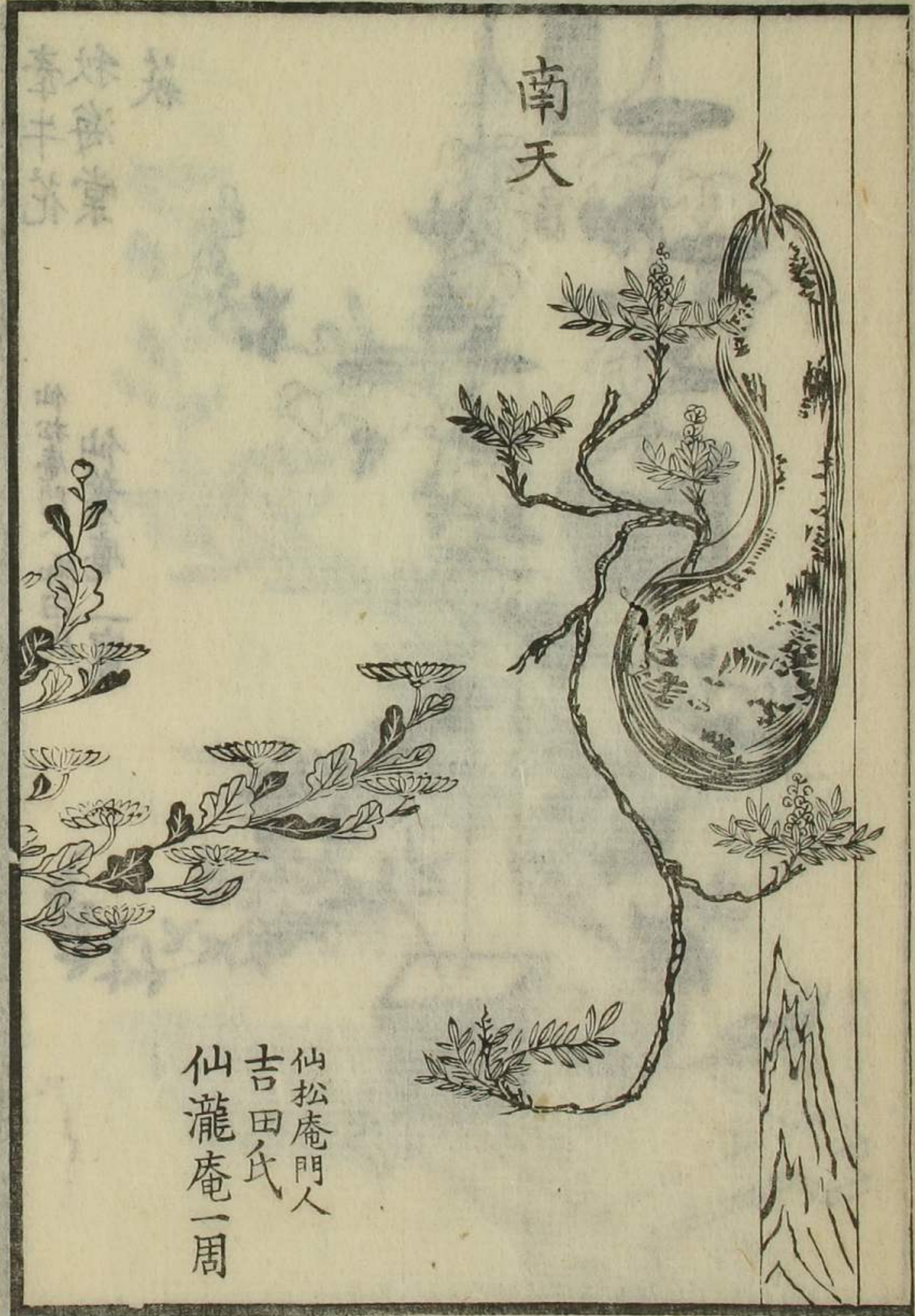


仙松庵門人和田氏
仙葉庵一窓

菊五十輪



南天



春
秋
冬
夏

仙松庵門人
吉田氏
仙瀧庵一周

春菊



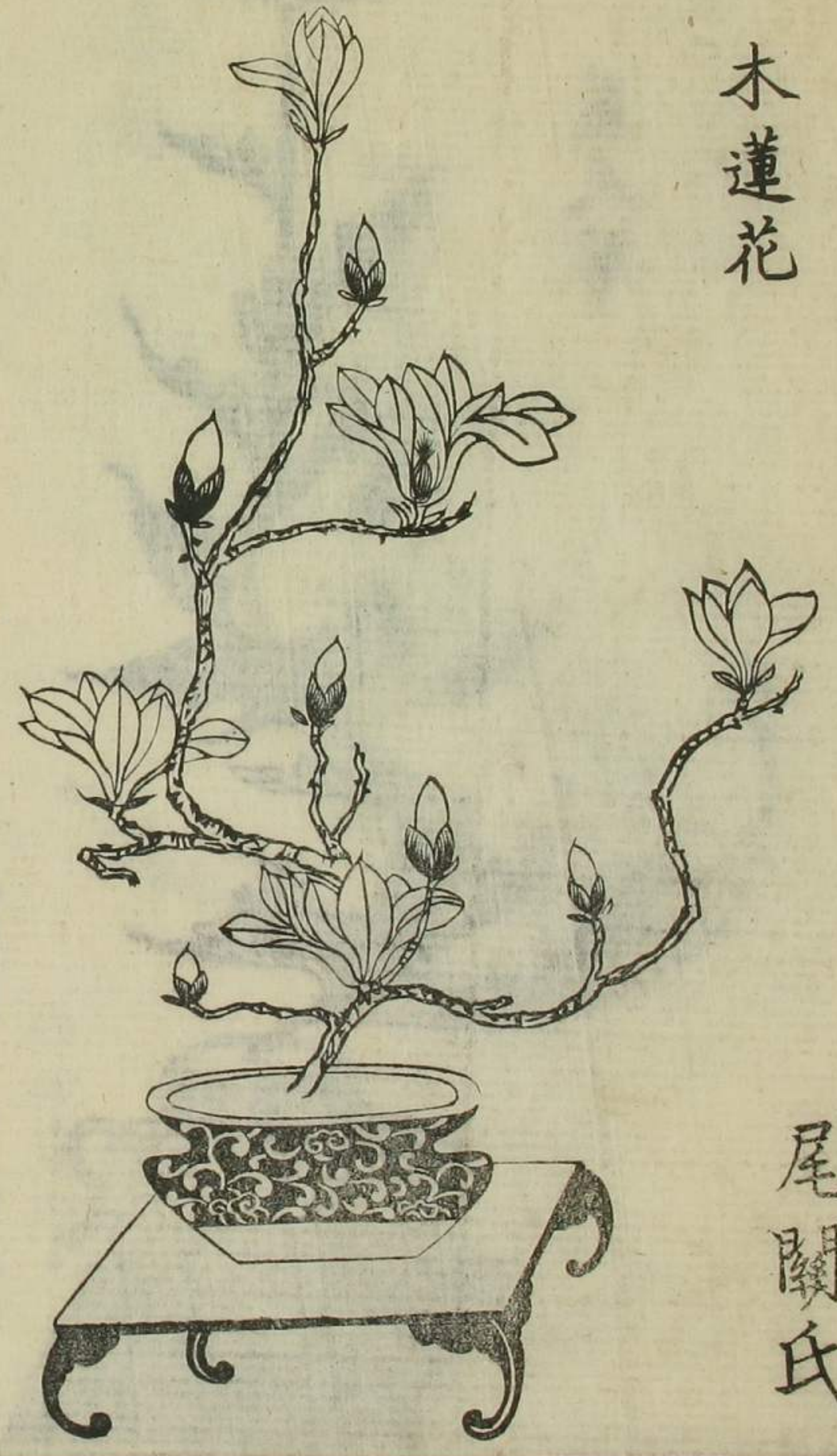
仙松庵門人
小池氏一松

美人草



同門人
能勢氏一長

木蓮花



仙松庵門人
尾關氏

仙霞庵一春

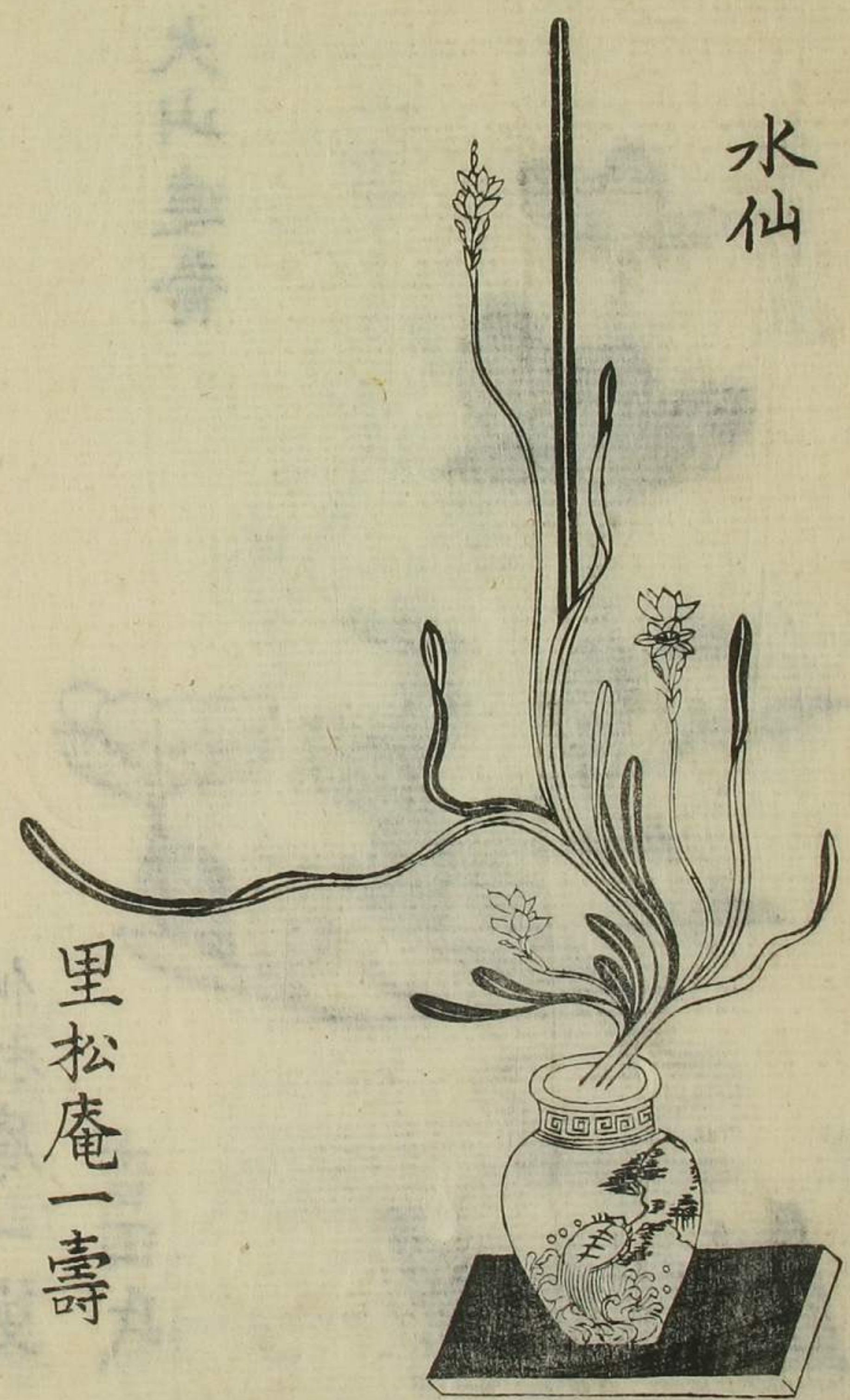
大山連喬



仙松庵一叟

吉田氏

水仙



里松庵一壽

